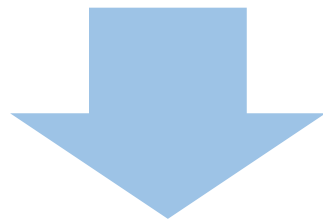


医療提供体制について

医療提供体制の確保はなぜ重要なのか

・元々、限られたマンパワーで日々の業務を行う中、コロナが施設内で拡大したら・・・**利用者と職員をどのように守りますか？**

・これまでにコロナ発生を経験された施設は、**利用者の体調悪化により焦ってしまうことはありませんでしたか？**



体調悪化の利用者を抱えると、現場が混乱します

早期診断・早期治療の重要性

- ・ 軽症であっても、感染または発症の早期から抗ウイルス薬による治療が望ましい。（例：パキロビッドパックという薬は入院または死亡のリスクを89%も減少させる。）
- ・ 最終的に診断・抗ウイルス薬による治療を判断するのは主治医だが、**「早期」の診断・治療には施設の方々のご助力が不可欠**

本日のテーマ：利用者・職員を守る、3つの「早期」

医療提供体制が不十分な場合の想定事例

早期診断

治療の遅れ

- 医療機関や主治医との連携不足
- 土日の早期診断・早期治療体制の脆弱性

体調悪化

- 体調悪化が急激に進行すると、職員の焦りを伴う
- 医療ひっ迫により、救急車を呼んでも解決しない可能性

現場負担増

- 体調悪化により介助の頻度が増える
- 体調悪化者をケアしないといけない、職員の心理的負担の増加

**職員の感染によりマンパワー不足、ケアの質低下
この混乱が数週間から1か月近く継続する**



その1.早期準備：体制づくり

各施設において、早期診断・早期治療の体制に
関与する職員は決まっていますか？

⇒事前の体制づくりにより、緊急時に焦らない役割分担。

⇒緊急時に施設全体で乗り切る「お互い様」の意識醸成。

管理者：
職員が陽性になった場合の各種調整と、医療機関及び家族等の連絡対応を行います。



現場職員：
新規の体調不良者の早期発見と、陽性者のケアの継続及び服薬見守りを行います。

その2.早期確認：医療提供の実施可否

医療ひっ迫の際には、入院が困難になる可能性がある

- ☆酸素投与、点滴、吸引ができる体制の構築が重要だが、グループホームにおいて施設内の医療提供は難しい・・・。
- ☆これまで利用者が体調悪化した際に、どのように医療へ繋いでいたか再確認。⇒外来への送迎・往診をどのように依頼していたか。

グループホームにおいては、主治医との連携が重要！

その2.早期確認：意思確認書

氏名

医療機関、高齢者施設、患者・家族が話し合って
(患者本人の意思を確認・尊重して)作成

コロナの流行中に入院が難しい場合に備えて(意思確認書)(例)

コロナ感染した際、(施設名) _____ として対応できること ※高齢者施設が記入

- 日々の健康観察
- SpO2 測定
- 食事の提供 (居室・食堂・居間・その他 _____)
- 入浴・清拭 (週2回以上・施設内の状況に応じて適宜)
- 機能訓練 (通常通り実施・メニューを減らして実施)
- 容態悪化時の連絡

ご家族 _____ 様 連絡先 _____

**利用者本人の望むケアや治療について
事前に家族と話し合いをすることで、
緊急時に素早く対応できる。**

1. 可能な限り入院したい
2. 入院しないとできない治療が必要になるなら、
3. 入院はできるだけたくない
4. 病状がどうであれ、入院はたくない
5. 今はわからない

急変時(心停止・呼吸停止)の対応についての希望

1. 心臓マッサージなどの蘇生と病院への移送をしてほしい
2. 心臓マッサージなど施設でできる限りのことをしてほしい(病院への移送は希望しない)
3. 蘇生は希望しない
4. 今はわからない

入院後の人工呼吸器の使用についての希望

1. 医学的に適応があれば、できる限りのことをしてほしい
2. 回復する見込みが少しでもあれば、使いたい
3. 回復する見込みが低いなら、使わない
4. 回復する見込みを問わず、使わない
5. 今はわからない

高齢者施設にお願いしたいこと

医療機関にお願いしたいこと

話し合った日 令和 年 月 日

一緒に話し合った人 _____

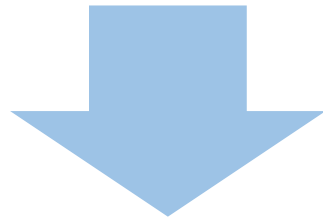
記入日	令和 年 月 日
入所者	氏名 (代筆者)
身元引受人 (または契約者)	氏名 (続柄) 連絡先
(その他の家族)	氏名 (続柄) 連絡先
施設職員	氏名

※協力医療機関や搬送先の病院に、この意思確認書の写しを提出いたします
※確認書の再提出や取消がない場合、この確認書が継続しているものとします
※判断できない場合は、対応が必要になった際に改めて確認を取りますが、緊急時や確認が取れない場合は、治療や入院が始まることもあり得ます。

参考：新型コロナウイルス感染症流行下での緊急搬送時に備えた意思確認について
(令和5年4月28日 岡山市保健福祉局高齢福祉部 高齢者福祉課・事業者指導課 高齢者施設・介護事業所宛て事務連絡)

その2.早期確認：平常時からのACP

平常時からACP（アドバンス・ケア・プランニング）を行い、症状悪化に備えて延命治療の希望の有無、コロナの積極的な治療の希望の有無について、ご家族を含めて一緒に話し合いをしましょう。



利用者が望む治療が分からなければ、医療現場での混乱につながる

その3.早期連絡：医療提供体制リスト

入所者	主治医	パキ口適応	服薬時 調剤調整	流行時連絡先	休日医療機 関連絡先	調剤薬局 連絡先	休日薬局 連絡先
A	X先生	有	アムロジピン 中止	Xクリニック	X携帯	P薬局	当番薬局
B	Y先生	ベクルリー (往診実施)		Y診療所	Y診療所	Q薬局	Q携帯

☆陽性者発生時に焦らなくても済むよう、医療機関等の関係機関を**事前に把握**

☆**土日の発生時も、早期治療を実現する**ために休日連絡先を確保

参考：これからの高齢者施設運営withコロナ「5類化で変わる・変える」

岡山市保健所 所長 松岡宏明 令和5年4月14日

https://www.city.okayama.jp/cmsfiles/contents/0000038/38516/3_hokenjo.pdf

その3. 早期連絡：早期診断・治療の例



- ・ 1日目朝 職員に陽性判明
- ・ 1日目夕 利用者・職員に抗原検査するも陰性
- ・ 2日目朝 利用者2名が発熱。直ちに主治医へ連絡
- ・ 2日目昼 主治医医療機関を受診し、陽性判明し確定診断
⇒抗ウイルス薬（パキロビッドパック等）処方有
- ・ 2日目夕 軽症のため、主治医より施設内療養の指示有
⇒利用者2名は抗ウイルス薬内服開始

発症日の当日には抗ウイルス薬の内服を開始（最短例）



参考：これからの高齢者施設運営withコロナ「5類化で変わる・変える」

岡山市保健所 所長 松岡宏明 令和5年4月14日

https://www.city.okayama.jp/cmsfiles/contents/0000038/38516/3_hokenjo.pdf

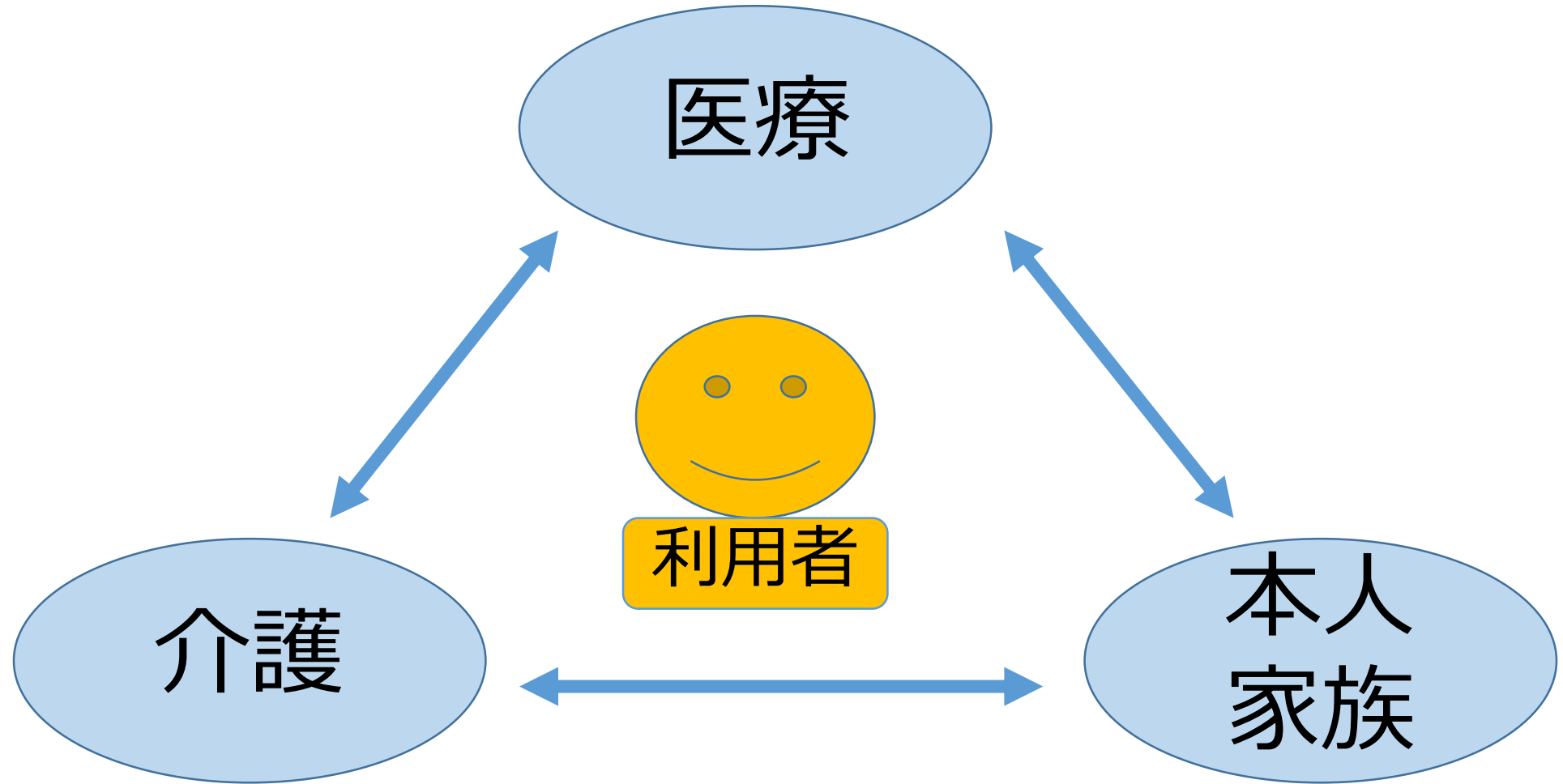
本日のまとめ

医療提供体制のポイントは

- 1.早期準備！**
- 2.早期確認！**
- 3.早期連絡！**

平常時こそ、コロナに備える絶好の機会

まとめ



**話し合うことで「連携強化」「信頼関係構築」できる
→利用者本人が望むケア・治療実現につながる！**